

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	キャリアデザインC		
英文授業科目名			
開講年度	2007年度	開講年次	3年次
開講学期	通年	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-自由科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	三木 哲也		
居室	総合研究棟 1021		

公開E-Mail	授業関連Webページ
三木 前佛	

【主題および達成目標】
<p>キャリア教育の仕上げとして、社会で仕事をする上で不可欠な技術者の基礎力とデザイン能力を身に付けることを達成目標としている。具体的には、技術者倫理を涵養し、技術者として組織的な仕事を行う基本事項を方法論も含めて学習し、それらをベースにして実際の課題をグループで解決するプロジェクト学習を行う。これにより、責任ある仕事を遂行することの出来る技術者としての基本を学ぶ。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
キャリアデザインA、キャリアデザインB

【教科書等】
特になし（必要に応じてプリントを配布する。）

電気通信大学 平成19年度シラバス

【授業内容とその進め方】

授業は、担当講師の授業、企業人講師による授業、課題解決演習によって構成する。

なお、夏休み期間中の集中講義期間（9月25日～28日）を用いて課題解決演習を行う。この分、後学期の授業を繰り上げる。

1. ガイダンス
2. 技術者倫理とコンプライアンス
3. プロジェクト遂行の基本
4. グループによる課題解決（基礎PBL: Project Based Learning）
5. グループによる専門的な課題に対する課題解決（専門PBL）
6. まとめ

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

〔評価方法〕

講義におけるレポート(40%)、グループによる課題解決(60%)及び出席(理由なく3回以上欠席した場合は、それ以上の欠席1回当たり5点減点)により評価する。

〔評価基準〕

以下の観点で、いずれもの能力が十分に確認できた場合に100点とし、部分的に不十分だがほぼ能力が認められれば60点とする。

- (1) 講義での課題に対して、十分考察し結果を正しい日本語でレポートにまとめること出来ること。
- (2) 課題解決演習（PBL）において、講義で学んだことを応用し、自分の分担事項について有効な結果を提出すること。
- (3) 課題解決演習（PBL）において、他と協調して効果的に推進するようコミュニケーションをスムーズに行い、結果を分かりやすくプレゼンテーション出来ること。

【オフィスアワー：授業相談】

共同研究センター3階302号室で、前佛栄客員教授および担当講師が相談に対応する。
メールであらかじめアポイントメントを取ってから訪問すること。

【学生へのメッセージ】

夜間主コースの学生も希望すれば受講できる。

【その他】